

春季神の子の自覚を深める 青少年まなびの広場

自然をいくしむこと、人間社会を愛すること。二つは実は同じこと。

中学生・高校生の部

2024年3月24日(日)～31日(日)

小学生の部

2024年4月6日(土)

はるかのひまわりを植えて
能登半島被災地とP4U・
ウクライナに愛を届けます。

(お問い合わせ先)

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-6-15
生長の家大阪教化部 TEL: 06-6761-2906





※中高生は3月25日～31日の期間
は早朝行事の実修を行います。



会 場：生長の家大阪教化部

テキスト：中高生『生長の家ってどんな教え？』

小学生『神さまと自然とともにある祈り』

奉納金：対面1日参加1,500円

※中高生は3月24日・31日両日共に全期で参加、
小学生は4月6日全期で参加の兄弟姉妹は、それ
ぞれ中高生が一人1,000円、小学生が一人500円
ずつ割り引かれます。

～冬季まなびの広場の感想紹介～

教化部長先生のお話を聞いて、
お年玉を能登半島地震の義援金
に寄付していました。

(小学1年生 保護者)

班の部長さんにとても懐いて、すごく楽しかったと帰っ
てきました。神の子無限力！と言ったり、お母さんも
行ったら？とか、いつもと違ってシャンとしていて、こ
んなに変わって驚きました。(小学1年生 保護者)

高校生になって海に行ったとき
は、友達がゴミを捨てていたら
止めてあげたいです。

(中学2年生)

海にゴミ拾いに行ったときに、とてもゴミが捨て
られていたので、これ以上魚たちへの被害を防ぐ
ためにゴミを捨てないようにします。

(中学1年生)

「はるかのひまわり」は、阪神淡路大震災で被災し、亡くなられた加藤はるかさんの家の空き地に咲いていた「ひまわり」を復興のシンボルとして「はるかのひまわり」と名付けられ、世界中の人々が育てています。プログラムの中で命の輝き共生の森で植樹を行った後、能登半島地震の復興を祈りそのひまわりを植えます。

また「ひまわり」は、ウクライナの国花であり、同時に「P4U・ウクライナに平和を」祈ります。

「自然と人間の大調和を観ずる祈り」には、「大地震は“神の怒り”にあらず、“観世音菩薩の教え”である。」(中略)「自然と一体の自己を回復せよ」と教えているのである。と、書かれています。

今回は、植樹などを通して自然と一体である自己の命を観じ、復興と世界の平和を祈るまなびの広場となります。

小学生や中高生はもちろん、大人の方も参加いただけます。みなさまのご参加をお待ちしています。

